

東京都港区 MCS地域包括会計事務所 第7回 協議会 今後の展開について

初秋の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。9月10日、港区の丸山定夫先生が麻布区民センターにて「MCS地域包括会計事務所第7回協議会」を開催しました。

昨年12月より開催をしてきました協議会ですが、今回で7回目となります。今回は今まで続けてきたグループ間の勉強会に加え、今後の展開について丸山先生と出席者にて話し合いが行われました。

いつものように冒頭、丸山先生より地域包括ケア情報として、同日開催しました「地域包括会計事務所への道」の資料を活用し「地域包括ケア」に必要な基礎知識をグループ間にもう一度説明をおこないました。また、社会保険旬報の資料「地域居住支援制度の構想」を活用し、今後の高齢者住宅の在り方や今後の政策等を説明しました。また、大和ハウス工業(株)様より介護情報として、大和エステート(株)の介護相談の窓口を設けた取り組み等について情報提供がありました。さらに、(株)ケアマックスの伊藤信彰様より入院医療の今後という事で、医業経営コンサルタントからの立場として今後の病院運営についての考え方の説明がありました。



また、今回は今後の港区MCS地域包括会計事務所の方針としての説明があり、麻布十番商店街へのアプローチ方法などがグループ間で話し合われました。今後は空き家対策としての取り組みを行い、商店街の方とのネットワークづくりを行い、そのためのターゲティングの重要性についても話し合いが行われました。また、麻布十番商店街内にて協議会を開催することや商店街内の方や一般市民を加えた協議会にするステップアップ案などさらなる活動の場を広げられるよう協力を要請していました。

今後の展開にも具体案がでるなどさらなる広がりをみせつつ、充実した内容にて終了しました。次回開催は10月14日(火)を予定しています。

